

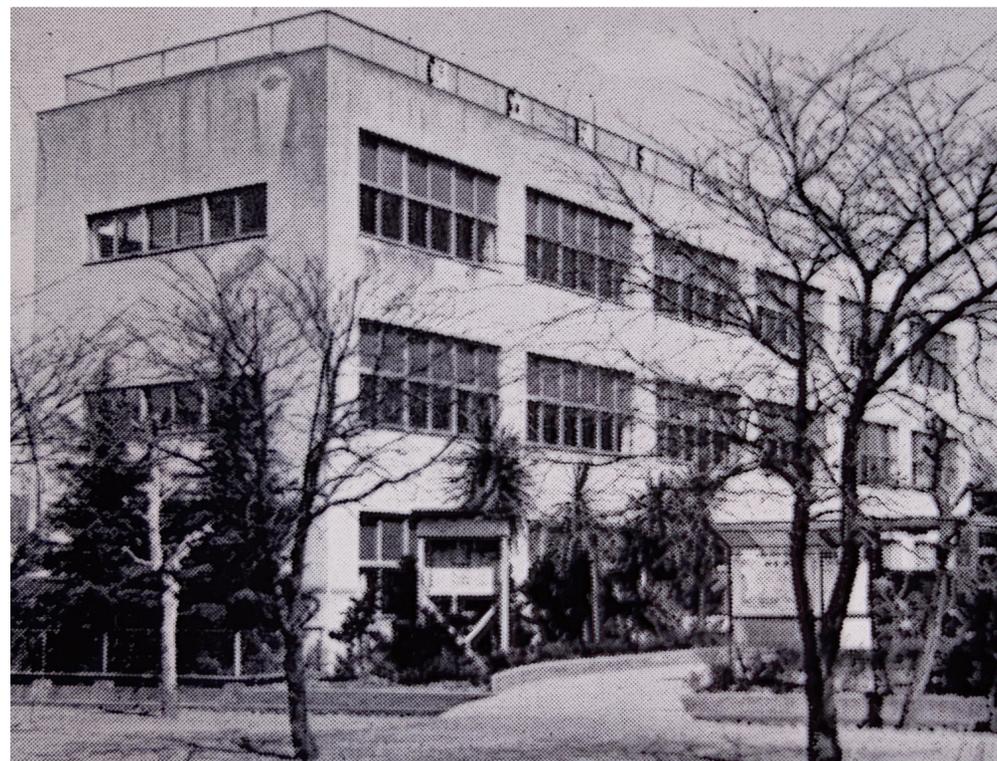
このあたりは昭和30年代まで

# 「栄町」

さかえちょう

と呼ばれていました

比刀根橋の少し西から文学館まで、広瀬川の兩岸と、東は城東小学校までの細長い町でした。前橋の製糸業の中心として栄えた交水社の本社工場が置かれ、広瀬川には工場に水を取り入れる交水堰が造られました。町名は昭和3年（1928）に、町の繁栄を願って名付けられたと伝わります。工場は昭和20年（1945）8月5日の前橋空襲で全焼しましたが、跡地には昭和53年（1978）まで県立図書館が建てられていました。



群馬県立図書館  
『前橋市勢要覧』昭和36年版（1962）



ふりがな  
Scan and  
select  
language



ここは 城東町一丁目